

# 香川を伝える

## ～University radio project～

代表者 廣瀬 渉（経済学部地域社会システム学科3年）

### 1. 目的と概要

本プロジェクトは、「香大生が今の香川を伝える」という取組である。

私たちは平成25、26年度の2年間にわたりラジオ番組制作を行ってきた。今年度は、主に香川の地域ニュースや出来事を大学生の目線でどう考えているかをレポートした。その際、経済学部・法学部・工学部の学生で構成されている団体であるという強みをいかした番組制作を行った。FM高松で2015年7月から2016年3月にかけて毎月第1水曜日22時から23時までの放送を合計9本製作した。

### 2. 実施期間（実施日）

平成27年6月19日 から 平成28年3月31日まで

### 3. 成果の内容及びその分析・評価等

本プロジェクト事業は、毎月の第1水曜日の22時から23時までFM高松においてラジオ放送を行ったものである。香川を伝えるというコンセプトのもと、番組作りのため、我々は香川県内の各地に取材に出かけて行き、その様子を放送にまとめた。また番組作りだけでなく、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会連携大学地域巡回フォーラム in 香川」の司会、大学間交流などの活動にも積極的に参加した。今年度の活動内容は以下の表のとおりである。

定期放送		その他の活動
7月	これからの Art time junction 空ちゃん田んぼ田植え（東かがわ市福栄）	
8月	インタビュー（バドミントン部） スイーツパスポートの旅 この夏行きたい香川のおすすめスポット	東京オリンピック・パラリンピックフォーラム司会 読売新聞（香川版）取材 大学間交流（UNGL）
9月	UNGL ゲストトーク（京都外国語大学生） 近藤喜文展（香川県立ミュージアム） 東京オリンピック・パラリンピックフォーラム	山口・広島研修旅行
10月	インタビュー（チェンマイ大学） 山口・広島研修旅行	
11月	小豆島（丸金醤油記念館） 男木島（男木島交流会館） 空ちゃん田んぼ稲刈り（東かがわ市福栄）	香川大学 PR 用動画出演
12月	しくじった！みんなの失敗教えます！ 祝全国大会出場（F.C. Mentiroso） 工学部トーク	カガアド（第23号）取材
1月	2015年を漢字一文字 2016年の抱負を漢字一文字 みんなの大晦日・お正月の過ごし方	講演会（今末真人氏）
2月	女木島（鬼退治） 直島（ロゲイニング） スイーツパスポートの旅 パート2 岩木勝也の喝！	
3月	中野うどん学校 大学生のスケジュール帳事情 曲に関する〇〇な話 講演会（今末真人氏）	

このプロジェクト事業により、学生が香川県についてこれまで以上に詳しくなった。県内の様々なところに取材に出かけて行く中でその土地について調べたり、その内容を放送したりする中で普段の大学生活では気づけなかった香川県の良さに気づいていった。香川を伝えるという番組コンセプトを実施するためには必要不可欠な過程だったといえる。

ラジオの放送スキルアップのために山口県と広島県にある放送局を訪問した。山口県

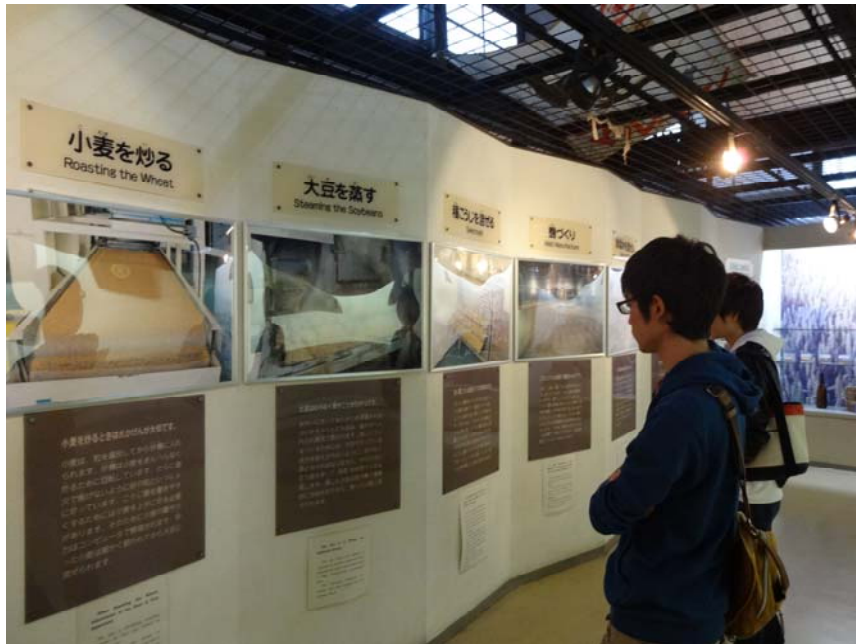
宇部市ではコミュニティ放送局 FM きららに関してのお話を伺った。広島県では学生が中心となって運営しているコミュニティ放送局の FM ハムスター（広島経済大学キャンパス内）を訪れ、生放送に参加したり、収録番組に出演したりした。1月23日にはFM徳島アナウンサーの今末真人氏を講師にお迎えし講演会を開催した。就職活動の体験談だけでなく、話し方など実践的なご指導を頂いた。2月や3月放送ではご指導いただいたことを実際に自分たちの番組作りに活かすことができ、プロジェクト全体のレベルアップにつながった。なお講師である今末氏からは「学生のラジオ番組としては非常にレベルの高いものであった。」との評価を頂いた。



(写真：ゲストを迎えての収録の様子)



(写真：研修旅行の様子)



(写真：小豆島丸金醤油での取材の様子)

#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクトを実施したことにより、番組リスナーの方々に対して地域で行われている行事をレポートしたり、地域で販売されているクーポン券を実際に使ったりして大学生目線で物事を伝えることができた。

ラジオ放送のみならず、8月6日には本学で開催された東京オリンピック・パラリンピックフォーラムでメンバーの須原、宮守が司会を担当した。普段はメンバーのみでのラジオの収録であるが、この時は多くの方々の前での司会ということで、貴重な経験となった。8月23日の他大学間交流や読売新聞（香川版）取材、11月の香川大学PR用動画出演などを通し活動が大学内にとどまらず、広く外に発信された。これらの活動を通して大学の顔としての役割を十分に果たせた。

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本プロジェクトは3年目を迎えたということでトークスキルや滑舌、編集技術も向上してきた。香川県内メインに取材に出向き、番組構成、収録、編集までの流れをすべて学生が行い、着目する点や話題など大学生ならではのオリジナリティあふれる番組を制作することができた。

#### 6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

私たちは、本年度の活動を通して様々な経験をしてきた。そんな中で私たちが最も感じた大きな課題は番組の認知度がまだまだ低いということである。そこで、どうすれば

多くの人に番組を聞いてもらえるかということ考え、解決策として私たちは、様々なツールを使い情報発信をより活発にしていくことにした。いままでにもFacebookやTwitterといったSNSを活用していたが、これまで以上に多くの人に見ていただけるよう更新の頻度や動画も投稿していく予定である。また、香川を伝えるという観点から考えると他の夢チャレンジプロジェクト参加団体と協力した活動も行っていけると考えた。他の団体の広報活動をすることで、香川大学生はこういった活動もしているのか、とリスナーの皆さんに聞いていただきたり、団体関係者に私たちの活動を知ってもらえたりすることができる。このような活動を通して私たちにしかできない番組づくりを制作していきたいと考えている。

## 7. 実施メンバー

代表者	廣瀬 涉	(経済学部3年)		
構成員	加藤 昇	(工学部3年)	須原 沙紀	(経済学部2年)
	宮守 義之	(経済学部2年)	田村 龍也	(経済学部2年)
	古市 かな子	(経済学部2年)	宮脇 拓弥	(経済学部2年)
	岩木 勝也	(法学部2年)	柏 慶次郎	(法学部2年)
	谷 淳弘	(工学部2年)	蓮井 宏輔	(工学部2年)